

研究課題名： 進行胃・膵臓がん患者に対する緩和的抗がん剤治療における
全生存期間と入院期間・外来受診回数の検討

1. 研究の対象

2014年4月から2018年12月までに当センターに紹介された治癒を目的とできない胃・膵臓がん患者(体調良好)で1カ月以上の抗がん剤治療歴があり、2019年12月までの観察期間に永眠した101名(胃がん50名/膵臓がん51名)を対象とします。

2. 研究目的・方法

治癒を期待できない多くの進行悪性腫瘍患者に対してOSの延長とQOLの改善を目的とした抗がん剤治療が行われます。BSCと比較して抗がん剤治療は患者にOSの延長をもたらすことが多いですが、同時に入院期間の延長や外来受診回数の増加も生じます。長い入院期間や頻回の外来受診はQOLに悪い影響を与えらると思われます。しかし、今まで行われてきた標準治療に関する臨床研究は主目的がOSであり、それに伴う入院期間や外来受診回数については注意が払われてきませんでした。そのため患者に抗がん剤の治療説明をする際に、その治療に伴う入院や外来受診についての情報を説明することは難しく、治療のdecision-makingの過程で支障となっていました。そこで、この研究では、当センターに紹介された治癒を期待できない進行胃・膵臓がんで抗がん剤治療を受けた患者に関してOS、総入院期間、総外来受診回数を検討する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの疾患、年齢、性別、局所進行・腹水・肝転移・肺転移の有無、永眠場所、生存期間、総入院期間、総外来受診回数を電子カルテ情報より取り出し、解析・検討する予定です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 寺島 貴之

〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 974)

研究責任者：

宮城県立がんセンター 腫瘍内科 村川康子